



令和4年度高知の授業の未来を創る推進プロジェクト事業における「高知の授業づくり講座」では、学習指導要領が目指す授業づくりを推進するとともに、日常的な授業研究に取り組む風土づくりを行い、自ら学び続け、共に高め合う教員の育成を目指し、拠点校を会場に教材研究会・授業研究会を1セットとして、年間2セット実施します。今年度の2セット目について、高知市小学校拠点校である大津小学校での、第3回教材研究会、第4回授業研究会について、第3学年の具体的な授業を通した単元の学びの様子を紹介します。

「読むこと」における 指導と評価の充実 単元名：見つけよう！物語をおもしろくするためのしかけ ～物や道具に気をつけて読む～ 教材名：「ゆうすげ村の小さな旅館」（東京書籍 3年下）

教材研究会より

言語活動を通して、資質・能力を育成する単元づくり ～指導と評価の一体化～



本単元「見つけよう！物語をおもしろくするためのしかけ」で提案したいこと

1 全国学力・学習状況調査の実態からの授業改善

○本校の実態を基に、「読むこと」の指導事項、イ「構造と内容の把握」の授業改善を図るために、中学年でどのような取組ができるのか。

2 評価問題の内容の検討

○学習した教材の内容を問う問題だけで、身に付いた資質・能力が正確に評価できるのか。 →「ゆうすげ村の小さな旅館」シリーズの他の物語で評価問題を作成する。

3 「しかけ」を見付けただけの授業からの転換

●これまでによく行われている授業
・場面ごとに読み、場面ごとに「しかけ」を見付ける。
・全場面を学習した後、まとめて「しかけ」を見付ける。

内容ベースの授業

○本単元での提案授業
・全文を丸ごと読み、「しかけ」を見付ける観点を考える。
・他の物語でも、観点を基に文章を読む。

資質・能力ベースの授業

○本単元で育成したい「資質・能力」

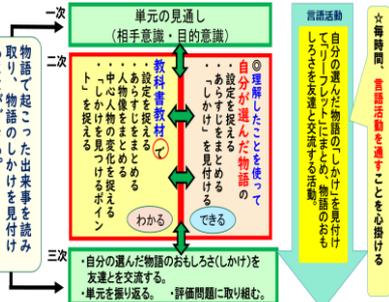
「学びに向かう力、人間性」
言葉がもつよさに気付くとともに、幅広い読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

【単元で取り上げる言語活動】
自分の選んだ物語の「しかけ」を見付けて「リーフレット」まとめ、物語のおもしろさを友達と交流する。
(関連：【思考力、判断力、表現力等】C2イ)

【知識及び技能】
様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やすことができる。
(C1イ 読象)
幅広い読書に親しみ、読書が必要知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。
(C3イ 読書)

【思考力、判断力、表現力等】
登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。
(C1イ 構造と内容の把握)
文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。
(C11カ 共有)

○言語活動と教材



○単元構想

Table with 2 columns: 時 (Lesson) and 学習内容 (Learning Content). It lists 11 lessons with their respective topics and activities.

授業研究会より

第二次 8/12時

〈本時の目標〉 中心人物の変化について、叙述を基に読み取り、「しかけを見つけるポイント」を見付けることができる。

講師 文部科学省初等中等局教育課程課 大塚 健太郎 調査官
「読むこと」の指導において大切なこと
～本日の提案・協議会より～

<授業の構想の仕方>

授業を構想する際、中学までの系統(横のライン)と、学習過程(縦のライン)をしつかり見直し、指導事項から構想していくことが大切。本単元は、指導事項、言語活動、評価規準の順につづいていながら、学習内容と評価の計画を立てているのがよい。

<指導事項としかけを讀むことの関係性>

「しかけ」に着目して叙述を讀むことは、登場人物の行動や気持ちを読むことになり、効果的に働く。「しかけ」を見付けることが大前提になると、指導事項が置き去りになってしまいうので、指導の際に留意しなければならない。

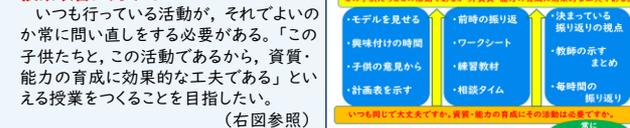
<成果物の扱いに留意>

成果物(リーフレット)を作ることが目的になってはいけない。きれいにできているものがよいものだという考えから脱却しなければ、本質的な評価ができない。何を評価するのか、何のためにその活動をしているのか興味しなければならぬ。

<子供が追究したくなる課題>

子供たちが「しかけ」を見付けたい(追究したい)と思って読んでいくのはよい。しかし、「しかけ」を追求することで終わらないように、子供たちの興味関心から指導事項についていこうと、スパイラルに高まっていくことができる。そこが単元づくりの面白さであり、難しさである。

<学習指導要領の趣旨を実現するための授業改善に向けて>

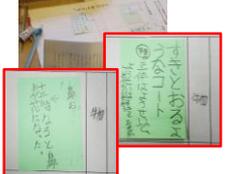


本時の評価規準・評価方法

本時の評価規準
C1イ 構造と内容の把握
「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。

ノート・教科書 中心人物の変化を読み取り、「しかけ」を見付けるポイントとして、中心人物の変化に大切な役割をもつ「物」を捉えることが確認。

⑤自分の選んだ物語の中で、登場人物の変化に大切な役割のある「物」に、「しかけ」が「いか」読む。



「言葉による見方・考え方を働かせるための明示的指導」
言語活動
A large diagram showing a student's handwritten notes and drawings. It includes labels like '挿絵', '比較', and '物語の物と「しかけ」を比較して、変化を読み取る。'.

④「しかけを見つけるポイント」をまとめる。

見つけたしかけ(具体)を「しかけを見つけるポイント(観点)」として、抽象的な言葉(一般化した言葉)で表すことで、児童が他の物語を読む際にも着目して読む視点となり、効果を考えながら読むことができる。

③「中心人物の変化の視点」でみたときに、どのようなしかけがあるのかを考える。

中心人物の変化に影響を与えた人物(対人物)については、これまでに見つけたポイントであることを確認することで、その他の叙述に着目させる。

②中心人物の変化に影響を与えた(変わった)人物の様子や行動、気持ちを比較し、変化を捉える。

中心人物の変化は場面読みでつかむことができない。場面ごとにくわく区切って読む指導ではなく、物語全体を俯瞰して読む指導が必要。

①物語りの始めと終わりの中心人物の様子や行動、気持ちを比較し、変化を捉える。

「言葉による見方・考え方を働かせるための児童の姿」
物語の物と「しかけ」を比較して、変化を読み取る。
教科書の叙述に線を引き、比較する。

本時までの学習において見つけた「しかけ」を見付けるポイントについて確認することによって、それ以外の「しかけ」に着目させるようにする。

見つけよう！

物語をおもしろくするためのしかけ

く物や道具に気をつけて読む

**【第一次 1/12】** 主な学習内容  
 ・高名な作家の代表作「フーレスト」の紹介から、東洋のゴッホメソッドを学ぶ。  
 ・「しかけ」の重要性を学ぶ。  
 ・「しかけ」のある物語の書き方を学ぶ。  
 ・「しかけ」のある物語の書き方を学ぶ。  
 ・「しかけ」のある物語の書き方を学ぶ。

**評価標準・評価方法**  
 《思考・判断・表現》①イイ構造と内容の把握  
 《言語・利用・表現》①イイ構造と内容の把握  
 《言語・利用・表現》①イイ構造と内容の把握

**本時の概容**  
 1. 高名な作家の代表作「フーレスト」の紹介から、東洋のゴッホメソッドを学ぶ。  
 2. 「しかけ」の重要性を学ぶ。  
 3. 「しかけ」のある物語の書き方を学ぶ。  
 4. 「しかけ」のある物語の書き方を学ぶ。

**挿絵**  
 1. 挿絵の役割を学ぶ。  
 2. 挿絵の役割を学ぶ。  
 3. 挿絵の役割を学ぶ。

**【第二次 2/12】** 主な学習内容  
 ・全文を読み、読者の感情を交差する。  
 ・全文で読み、読者の感情を交差する。  
 ・全文で読み、読者の感情を交差する。

**評価標準・評価方法**  
 《思考・判断・表現》①イイ構造と内容の把握  
 《言語・利用・表現》①イイ構造と内容の把握

**本時の概容**  
 1. 全文を読み、読者の感情を交差する。  
 2. 全文で読み、読者の感情を交差する。  
 3. 全文で読み、読者の感情を交差する。

**【第二次 3/12】** 主な学習内容  
 ・物語の登場人物の心情・感情・行動を捉える。  
 ・物語の登場人物の心情・感情・行動を捉える。  
 ・物語の登場人物の心情・感情・行動を捉える。

**評価標準・評価方法**  
 《思考・判断・表現》①イイ構造と内容の把握  
 《言語・利用・表現》①イイ構造と内容の把握

**本時の概容**  
 1. 物語の登場人物の心情・感情・行動を捉える。  
 2. 物語の登場人物の心情・感情・行動を捉える。  
 3. 物語の登場人物の心情・感情・行動を捉える。

**【第二次 4・5/12】** 主な学習内容  
 ・登場人物の行動・心情・感情・行動を捉える。  
 ・登場人物の行動・心情・感情・行動を捉える。  
 ・登場人物の行動・心情・感情・行動を捉える。

**評価標準・評価方法**  
 《思考・判断・表現》①イイ構造と内容の把握  
 《言語・利用・表現》①イイ構造と内容の把握

**本時の概容**  
 1. 登場人物の行動・心情・感情・行動を捉える。  
 2. 登場人物の行動・心情・感情・行動を捉える。  
 3. 登場人物の行動・心情・感情・行動を捉える。

**【第二次 6・7/12】** 主な学習内容  
 ・登場人物の行動・心情・感情・行動を捉える。  
 ・登場人物の行動・心情・感情・行動を捉える。  
 ・登場人物の行動・心情・感情・行動を捉える。

**評価標準・評価方法**  
 《思考・判断・表現》①イイ構造と内容の把握  
 《言語・利用・表現》①イイ構造と内容の把握

**本時の概容**  
 1. 登場人物の行動・心情・感情・行動を捉える。  
 2. 登場人物の行動・心情・感情・行動を捉える。  
 3. 登場人物の行動・心情・感情・行動を捉える。

**【第二次 8/12】 授業研究会・本時**

**【第二次 9・10/12】** 主な学習内容  
 ・物語の登場人物の心情・感情・行動を捉える。  
 ・物語の登場人物の心情・感情・行動を捉える。  
 ・物語の登場人物の心情・感情・行動を捉える。

**評価標準・評価方法**  
 《思考・判断・表現》①イイ構造と内容の把握  
 《言語・利用・表現》①イイ構造と内容の把握

**本時の概容**  
 1. 物語の登場人物の心情・感情・行動を捉える。  
 2. 物語の登場人物の心情・感情・行動を捉える。  
 3. 物語の登場人物の心情・感情・行動を捉える。

**【第三次 11/12】** 主な学習内容  
 ・学内でリーフレットを紹介し合う。  
 ・学内でリーフレットを紹介し合う。  
 ・学内でリーフレットを紹介し合う。

**評価標準・評価方法**  
 《思考・判断・表現》①イイ構造と内容の把握  
 《言語・利用・表現》①イイ構造と内容の把握

**「七草」のリーフレット**

**「七草」のリーフレット**

**「七草」のリーフレット**

**【第三次 12/12】** 主な学習内容  
 ・本文を読み、読者の感情を交差する。  
 ・本文を読み、読者の感情を交差する。  
 ・本文を読み、読者の感情を交差する。

**評価標準・評価方法**  
 《思考・判断・表現》①イイ構造と内容の把握  
 《言語・利用・表現》①イイ構造と内容の把握

**「七草」のリーフレット**

**「七草」のリーフレット**

**「七草」のリーフレット**

**参会者より**

○本校でも、「わかる」「できる」を往還した授業づくりの重要性について理解し、実践をしている。「読むこと」の領域の実践については、内容の読み取りで終わる授業が多く、「わかる」「できる」を往還する提案授業を今までに研究会等で参観したことがなかったため、大津小の実践には学ぶことが多かった。単元でそのような資質・能力を身に付けなければならないのか考え、授業づくりをしていきたい。

○大津小の子どもたちは、言葉による見方・考え方を働かせながらあてへど迫り、その中で自発的に問い（課題）を生み出していた。このような授業を続けていくことは、「わかる」場面において、質の高い理解を促すとともに、児童の意欲を生み出していくに違いないと感じた。

○児童が言葉の力をインプットしたことをアウトプットする際に、視点や観点がなくてよいように活用してよいのが困り感をもってしよう。教材の内容だけでなく、学んだことが児童の力となるような国語の授業をしていきたい。

○本単元の実践を何度か見てきたが、すべてしかけを見付けることが目的となった授業だった。児童は単元を通して「しかけを見付けるポイント」を積み上げていたが、ポイントである「人物像」「出来事」「行動」「名前」等に注目して他の物語を読むことは、指導事項「イ構造と内容の把握」の「人物の行動や気持ちについて叙述を基に読み取る」際の手掛かりとなり、資質・能力を着実に身に付けることができたと感じた。

**授業者より**

授業づくり講座に取り組んでみて、学習評価や系統性、言語活動を通した単元づくり、一時間、一時間の授業づくりについて、詳しく学ぶことができた。

本時までの授業の中で、中心人物を見付けたり、あらすじをまとめたりして、これまでの単元での学びを生かして学習を進めることができてきた。本時は、中心人物の変化に、対人物がどのように関わっているのかについて、大切な役目のある「ウサギダイコン」や「よもぎの葉っぱ」などの「物」について十分に抑えることができていなかったことで、課題の解決が難しくなった子どもが見られた。これまでも毎時間「しかけを見付けるポイント」を見付け、そのポイントを使って自分の選んだ物語から「しかけ」を見付けるという「わかる」と「できる」を繰り返してきた。これからの読書活動や、物語の学習をする時に、この単元での学びを生かして、登場人物の行動や出来事、名前や物に着目しながら読み進めていく、読み深めていく子どもたちになってほしいと思っている。そんな子どもたちを育てていくためにも、これからも国語の授業づくりに取り組んでいきたいと思う。

**小原 光 教諭**

授業づくり講座に取り組んでみて、学習評価や系統性、言語活動を通した単元づくり、一時間、一時間の授業づくりについて、詳しく学ぶことができた。

本時までの授業の中で、中心人物を見付けたり、あらすじをまとめたりして、これまでの単元での学びを生かして学習を進めることができてきた。本時は、中心人物の変化に、対人物がどのように関わっているのかについて、大切な役目のある「ウサギダイコン」や「よもぎの葉っぱ」などの「物」について十分に抑えることができていなかったことで、課題の解決が難しくなった子どもが見られた。これまでも毎時間「しかけを見付けるポイント」を見付け、そのポイントを使って自分の選んだ物語から「しかけ」を見付けるという「わかる」と「できる」を繰り返してきた。これからの読書活動や、物語の学習をする時に、この単元での学びを生かして、登場人物の行動や出来事、名前や物に着目しながら読み進めていく、読み深めていく子どもたちになってほしいと思っている。そんな子どもたちを育てていくためにも、これからも国語の授業づくりに取り組んでいきたいと思う。

**「小・中」の学びをつなぐ**

**「読むこと」イ構造と内容の把握**

国語科の学習内容は、系統的・段階的以上の学年につながっていくとともに、螺旋的・反復的にくり返しながら学習し、資質・能力の育成を図ることを基本としている。

書かれている内容だけでなく、形式を捉えて読むことは、作品に隠された象徴性や暗示性、メッセージ性などを読み高学年の読解や、主体的な読書活動にもつながる。学年ごとの段階的な学びを積み重ねていくことで、自分の考えを確かなものにし、広げ、深めたりするようにしたい。

段階的な学びを積み重ねていく